

第30回 茨城県移動性・安全性向上委員会 議事要旨（案）

開催日時 令和4年8月30日（火）10:00～12:00

開催場所 常陸河川国道事務所 2階 会議室 F・G

<議事等>

1. 移動性関係議題について

- 1-1 これまでの検討経緯と今回の論点
- 1-2 ①渋滞対策の進捗状況確認
- 1-3 ②最新の交通状況による分析
- 1-4 TDM 施策の進捗状況
- 1-5 ③渋滞対策箇所の効果確認
- 1-6 ④主要渋滞箇所の見直し
- 1-7 ⑤優先検討箇所の検討状況
- 1-8 ⑥ピンポイント渋滞対策について
- 1-9 主要渋滞箇所の今後の取り扱いに関する提案



2. 安全性関係議題について

- 2-1 これまでの経緯
- 2-2 第29回委員会における主な指摘事項と対応
- 2-3 交通安全対策検討
- 2-4 令和4年度合同現地診断について
- 2-5 今後のスケジュール

<主な意見>

1. 移動性関係議題について

1-1 これまでの検討経緯と今回の論点

1-2 ①渋滞対策の進捗状況確認

○特に意見なし

1-3 ②最新の交通状況による分析

委員 ○主要渋滞箇所のモニタリング結果について、国道6号下土田南交差点は体感でも比較的混雑が小さいように感じる。一方で、中貫交差点や上稲吉交差点及び下稲吉交差点にかけては渋滞が発生しているため、渋滞対策を検討していただきたい。

事務局 ○今後渋滞対策事業を進める上で、貴重なご意見として検討材料とさせていただきます。

1-4 TDM 施策の進捗状況

委員 ○交通量のピークを抑えるような取り組みは継続的に行っていくことが重要と考えている。観光地以外の地域でもTDM施策の取り組みを検討していただきたい。

1-5 ③渋滞対策箇所の効果確認

委員 ○国道51号鹿嶋バイパスについて、鹿島アントラーズ戦試合終了後の渋滞対策として、茨城県及び茨城県警で信号制御の見直しを行っている。

委員長 ○国道51号鹿嶋バイパスについて、上り方向は渋滞が解消されていないようだが、原因はど

う考えているか。

浦和レッズ戦時などの最大ピーク時の検討や、周辺道路への影響の検討も必要である。

事務局 ○ コロナ禍の影響で自家用車を利用したスタジアム来場が多く、試合後に潮来 IC に向かう車両で渋滞が発生している。引き続き迂回路への誘導や、渋滞対策に係る社会実験を茨城県及び茨城県警と連携して進めていきたい。

委員 ○ 国道 51 号鹿嶋バイパスについて、神向寺南交差点の上り方向では速度低下が悪化しているのはなぜか。

事務局 ○ 今後、要因分析を行っていきたい。

委員 ○ 宍塚大岩田線について、事業によって歩道整備も行われており、歩行者が通行しやすくなったことも、整備効果として挙げられる。

1-6 ④主要渋滞箇所の見直し

委員 ○ (仮称) 水木町交差点について、モニタリング指標のグラフはどの流入部の速度であるか。

事務局 ○ 最も遅い流入部の速度が抽出されており、(仮称) 水木町交差点では従道路の速度となっている。

委員 ○ 南北アクセス道路・大甕水木連絡道路の開通によって、ネットワークとして速度改善の効果がみられる。

委員長 ○ (仮称) 水木町交差点を主要渋滞箇所から解除することを承認する。

委員長 ○ 額田北交差点について、評価区間長の見直しをすることによって、モニタリング指標の速度も変わると考えられる。次回の委員会で試算結果を示して頂きたい。

委員長 ○ 渋滞対策要望の 2 箇所について、モニタリング指標の基準を下回った箇所は主要渋滞箇所に追加するのか。

事務局 ○ 既存の主要渋滞箇所がまだ多く残存している状況であるため、当面はモニタリングを継続したうえで、今後主要渋滞箇所への追加を検討したい。

1-7 ⑤優先検討箇所の検討状況

委員長 ○ 酒門町交差点について、立体化した場合のシミュレーションを実施したか。

事務局 ○ 今後、シミュレーションを実施するか検討していきたい。

委員長 ○ 酒門町交差点について、交通事故発生状況は国道 6 号周辺において相対的に多いのかを調べるのが望ましい。

委員 ○ 酒門町交差点について、OD 分析の結果を対策に活用し、対策後に抜け道利用が悪化しないように検討することが重要である。

委員長 ○ (仮称) 土浦駅前西交差点の対策事業はこれからなのか。

事務局 ○ 現在の対策事業は、宍塚大岩田線を含む都市計画道路の整備が位置付けられている。

委員長 ○ 当該箇所は、渋滞というよりも運転がしづらいために速度が遅くなっているようも感じる。モニタリング方法の見直しを検討することも考えられる。

委員 ○ ヨークタウン水戸周辺の道路について、課題箇所の抽出はできているか。ヨークタウン水戸からの出入りでの事故も懸念されるため、移動性と安全性の両面から対策を検討してほしい。

事務局 ○ 水戸神栖線（梅香下千波線）の 4 車線化後の状況を確認し、検討していきたい。

1-8 ⑥ピンポイント渋滞対策について

○特に意見なし。

1-9 主要渋滞箇所の今後の取り扱いに関する提案

委員長 ○主要渋滞箇所の特定から解除までの流れの改定案に異議なし。

委員 ○評価区間長の設定方法について、評価区間が短すぎることも長すぎることも問題である。
次回の委員会で、交通工学上、合理的な長さを提示するとともに、議論して欲しい。

2. 安全性関係議題について

2-1 これまでの経緯

○特に意見なし。

2-2 第29回委員会における主な指摘事項と対応

委員長 ○最近では、左折するとき右に膨らんでから曲がる、あおり運転が問題となっているので参考にして欲しい。今後マナー対策として、この委員会も協力するという事か。

事務局 ○その予定です。

委員長 ○県警本部とも連携し、検討を進めてもらいたい。

委員 ○茨城県警では「その手で合図！止まってくれてありがとう大作戦」ということで、横断歩道の前で手を挙げる「合図」と、止まってくれた時の「感謝」を伝えるマナーアップのチラシも作成しているので、周知していきたい。

委員長 ○横断歩行者がいる際に横断歩道前で車両が停止しないのは道交法違反である。取り締まりもしっかり行ってほしい。

委員 ○承知した。

2-3 交通安全対策検討

委員 ○三杉交差点の横断歩道の直行化は交差点のコンパクト化なのか。

事務局 ○対策の趣旨を再度確認する。

委員長 ○カラー舗装の対策について、直進も右折も一緒にカラー舗装とするのは意図が分かりにくい。車線ごとに分けるといことも検討してはどうか。

○路面標示の追突注意は現在も書いてあるので、同じような箇所にやるのでは意味がない。
また、道路の路面を見るため、下を向き続ける事になってしまう。視線を上に向けるため、看板を連続して表示するなどの対策は考えられるのではないか。

○古河市中田 2231-14～中田 929-1 は分かりにくい交差点がいくつもあるので、交差点を統合するなど抜本的に対策してはどうか。

委員 ○確認して事業課と調整します。

委員長 ○研究学園交差点については、東西方向の信号も、右折分離式にしてはどうか。東側流入部はクレストになっているため、かなり手前から注意喚起をした方が効果的である。

2-4 令和4年度合同現地診断について

委員長 ○合同現地診断はいつ頃の予定か。なるべく暖かい内にやりたい。

事務局 ○10月～11月頃を予定している。

2-5 今後のスケジュール

○特に意見なし。

以上